

タイトル 「横浜立野高校の歴史と今～来年 90 周年を迎えて～」

発 表 横浜立野高等学校 P T A

助言者講評 概要

神奈川県立釜利谷高等学校 校長 金子 博暢

改めまして、指名いただきました釜利谷高校校長の金子でございます。今、発表を聞かせていただきまして、すごくいい取り組みについて、聞かせていただいたように思います。90 年の節目を迎えるにあたっての地域との取り組み、それから各委員会がそれぞれ工夫を凝らしながら生徒をバックアップするような体制、それから教育と保護者の架け橋、そして学校と保護者の架け橋になっているというところがすごく印象的でした。すごく細かいところで配慮されている環境委員会のお花について、トイレ清掃では、広報委員会のきめ細かな写真における記録の取り方について、学年委員会の給水における本数を増やしてみたりという工夫だったり、本部の皆さん、整理委員会の皆さんについても同様に少しずつバージョンアップしていくその姿勢がすごくいいなという風に思いました。我々も同様の取り組みをしていますけども、そういった日頃の気づきの中で工夫ができるんだということを改めまして感じましたし、それぞれの学校がそれぞれの環境で違う工夫をしていくことが、子どもたち、それから学校のためになっていくんだということが非常に勉強になりました。来年 90 周年という節目を迎えるに当たって、この取り組みをさらにまとめていきながら、盛大にその 90 周年の節目が行われることをお祝いしまして、講評とさせていただきたいと思います。